



第93回
全国高校野球
選手権大会

健大高崎

延長10回

一歩及ばず



6回表健大高崎2死二、三塁、小池が右翼線に2点三塁打を放ち同点に追いつく。投手相馬=甲子園

▶2回戦

健大高崎	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	
横浜 <small>(神奈川)</small>	0	2	2	1	0	0	0	0	0	1	x	6

健大高崎の三塁側アルプスタンドではバス30台で駆け付けた生徒ら約1千人が声援を送った。

さらに長坂拳弥(2年)が四球を選び、満塁。宇野遼介(3年)の左中間二塁打で2点、小池優太郎(3年)の三塁打で2点を加え、この回一挙5点を奪い同点に追いついた。

先攻の健大高崎は四回までに5点のリードを許したが、六回に長短5安打を集中して猛追した。竹内司(2年)、門村鴻輝(3年)の連打などで1死二、三塁とした後、柳沢潤也(3年)の適時打で1点を返した。

手権大会第7日は12日、甲子園球場で2回戦を行った。本県代表の健大高崎は第3試合で横浜(神奈川)と対戦。延長十回の末、5-6でサヨナラ負けした。県勢として一昨年の農大二以来2年ぶりのベスト16入りに期待が掛かったが、及ばなかった。

横浜に5-6

第93回全国高校野球選手権大会第7日は12日、甲子園球場で2回戦を行った。本県代表の健大高崎は第3試合で横浜(神奈川)と対戦。延長十回の末、5-6でサヨナラ負けした。県勢として一昨年の農大二以来2年ぶりのベスト16入りに期待が掛かったが、及ばなかった。